

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単位	本年度の 目標値
③学校と家庭 の課題	放課後等における多様な体験活動	地域との交流や体験活動が減り、社会性が育まれにくくなっている。さらに、スマートフォン等の普及で、放課後をSNS視聴などで過ごす児童が増え、体験の機会が減少している。	放課後子供教室の実施により、学校・家庭以外の大人と関わる機会を増やし、礼儀やコミュニケーション力などを学ぶ機会となっている。	放課後子供教室において、季節の行事や地域の伝統行事を知るなど多様な活動を行い、児童の興味を引くことで、家庭でもSNS以外の過ごし方や、地域行事への参加を促進できるような取り組み。	放課後子供教室により、安全な居場所が確保され、多様な活動を通じて児童の関心が広がり、家庭での過ごし方の変化や地域行事への参加も増える。	アンケートを実施し、家庭での過ごし方の変化や、地域活動への参加の増加など肯定的な回答の割合	46	%	60
③学校と家庭 の課題	家庭等における学習習慣の定着	通学圏内に塾等がないため、学校の授業以外での学習機会の確保を図り、家庭等での学習習慣の定着を目指す必要がある。	放課後に学習時間を確保し、個人の学習課題に合わせた自主学習も行うことで、家庭等での学習定着につながるよう取り組んでいる。	地域性により、学校の授業以外における学習機会の確保は重要な事業であり、受験を控える中学3年生を対象に放課後英数教室を実施する。	家庭環境に関係なく、平等に高校受験に向けた学習に取り組める機会を確保することができる。	対象者にアンケートを実施し、学習時間の確保と、学習習慣の定着につながったとする回答の割合	94	%	95
①学校運営上 の課題	教職員の時間外勤務の是正	「総合的な探求の時間」や地域との連絡調整、通学路の確認や環境美化などの学校環境整備は、教職員の時間外労働を増加させる要因の一つになっている。	地域学校協働活動推進員を中心に人材発掘を目指しており、今後も学校と連携し継続的な協力が得られるよう努めている。	各学校に配置された地域学校協働活動推進員が、地域との連絡調整や授業支援などを担い、地域ボランティアと連携して環境整備や登下校の見守りを推進し、教職員の負担軽減を目指す。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教職員の業務負担が軽減され、時間外勤務を行う教職員が減少する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教職員の割合	32	%	30